

平成27年度 事業報告書

自 平成27年4月 1日

至 平成28年3月31日

公益財団法人北海道文化財団

I 概要

北海道文化財団は、道民一人ひとりが心の豊かさを実感できるゆとりと潤いに満ちた地域社会の実現をめざし、道民生活の全般に係る幅広い文化の振興に関する事業を行い、新しい地域文化を創造するとともに、全ての道民の皆さんが文化の恵みを楽しむ生活文化圏づくりに資することを目的として、平成6年11月に設立された。

平成24年4月には、公益法人制度の改革に伴い、公益財団法人として再出発した。

財団では、平成27年度においても、財団設立後20年で培ってきた成果を踏まえ、道民の皆さんが自主的に取り組まれる文化活動を支援する事業や、道民の皆さんに優れた芸術文化に触れる機会を提供する事業、文化交流の促進に関する事業、文化情報を提供する事業などの着実な実施に努めた。

また、指定寄附を受け財団内に設置した「長原 實・スチウレ・エング 人づくり基金」（愛称：人づくり一本木基金）、「アート選奨K基金」の事業を、平成27年度から本格的にスタートさせた。

なお、事業の実施に当たっては、事業内容を充実させるとともに、波及効果を高めるため、関係機関、団体との連携を一層強化することに留意した。

II 文化財団事業

1 文化基金事業

(1) 文化の創造活動に関する事業

ア まちの文化創造事業

地域住民が参加する自主的で創造的な、音楽、演劇、舞踊等の舞台発表活動や美術・映像・文芸等の展示発表活動に対し、経費の負担や助言等を行い、自主的な文化活動を促進するとともに、文化活動による地域づくりの機運の醸成を図った。

- シアタープログラム 17事業（10市町）
- ギャラリープログラム 5事業（4市）

イ アドバイザー派遣事業

地域の文化団体等からの要請に基づいて、文化活動に関する専門的な知識や経験を有するアドバイザーやプロのアーティストを派遣し、事業企画や舞台技術に関する指導・助言、舞台表現に関するワークショップ等を行い、課題を解決するなど、地域における文化創造活動を支援した。

- 文化企画アドバイザー 2件（稚内市、札幌市）
- 舞台技術アドバイザー 3件（利尻町、滝上町、清水町）
- 舞台表現アドバイザー 11件（砂川市、倶知安町、余市町、様似町、函館市、今金町、斜里町、広尾町、幕別町、札幌市2件）

ウ 舞台創造支援事業

舞台づくりの講座やワークショップ等の舞台制作のプロセスを体験しながら舞台を上演することを通して、地域で演劇、音楽等の活動に携わる人材の育成と能力の向上を図るとともに、公立文化ホール等の利用や住民参加の向上を図った。

- 1箇所（大空町）

(2) 鑑賞機会の拡充に関する事業

ア アートシアター鑑賞事業

当財団が選定した公演演目や各市町村が連携・企画した道内外で活動するアーティストによる舞台芸術公演の実施団体等に対し、経費の負担や助言等を行い、優れた芸術鑑賞の機会を提供することにより、文化の裾野の拡充を図った。

- 道内アーティストプログラム 7公演 (7市町村)
- 道外アーティストプログラム 24公演 (23市町)
- ネットワーク型公演 19公演 (19市町村)

イ 文化の宅配便事業

公立文化ホールが無いなど、鑑賞環境が整備されていない市町村に、小規模な芸術鑑賞事業とワークショップ等の芸術普及活動を組み合わせた啓発育成型プログラムを提供し、文化活動への参加意欲や地域での文化活動の振興を図った。

なお、真狩村、留寿都村での開催については、「村にアートを」テーマに、ビレッジアート事業として実施した。

- 11箇所 (浦臼町、真狩村、鹿部町、木古内町、留寿都村、松前町、雨竜町、名寄市(颯)、増毛町、新得町、積丹町)

ウ アート体感教室事業

国内外で活躍するアーティストを道内各地に派遣し、各地の子どもたち(児童・生徒)を対象とした体験型ワークショップや、アーティストとの共同制作等の交流を行うほか、アーティストとともにミニライブや展覧会を通して、豊かな想像力や表現力の育成を図った。

- 4箇所 (網走市、斜里町、中標津町、旭川市)

(3) 文化活動の促進に関する事業

ア アートゼミ事業

道内で舞台芸術等の創作・表現活動に関わる方を対象に、少人数による実践的なワークショップを開催し、アーティスト等の資質の向上を図るほか、ダンス作品を上演し、舞台芸術の普及・啓発に努めた。

また、特別講座として、縄文遺跡群の価値や存在意義を広く道民に周知するため、シンポジウムや展示などを行う「北の縄文シリーズ」を開催し、世界遺産登録への機運の醸成を図った。

- 2講座 (小樽市、札幌市)

イ 若手芸術家発表事業

当財団が推薦する若手芸術家(HAFアーティスト)を地域に派遣し、コンサートやアウトリーチ活動を行い、道内で活動する若手アーティストの育成と地域における文化の振興を図った。

また、北海道庁旧本庁舎(赤れんが庁舎)において、道内で活動するアーティスト(音楽・美術)を紹介した。

- 3箇所 (函館市、名寄市、札幌市)
- 5件 北海道文化財団20周年NEXT事業(札幌市)

(4) 文化交流の促進に関する事業

道内において、音楽、演劇、舞踊、美術等の芸術分野で活動している地域の文化団体等が、道外や海外で行う公演等や、道外や海外において、音楽、演劇、舞踊、美術等の芸術分野で活動している文化団体を招へいして、道内の文化団体等と交流を行う事業に経費の助成を行い、道内の文化活動のレベルアップを図るとともに、優れた人材の育成を行った。

また、文化提携交流を行っている韓国光州広域市での光州平和演劇祭に、札幌の劇団「弦巻楽団」を派遣し公演するなど韓国の演劇関係者と演劇交流を行ったほか、交流10年を記念し、韓国光州文化財団代表理事ほか文化関係者によるフォーラム「文化芸術と新しい地域の創造」を開催した。

さらには、韓国（光州、ソウル、珍島）の美術グループを招へいして、札幌の作家と合同展を開催した。

- 発信交流事業 8件（函館市、帯広市、札幌市6件）
- 招へい交流事業 5件（札幌市5件）
- 文化提携交流事業 3件（韓国光州広域市、小樽市、札幌市）

(5) 文化情報の提供に関する事業

ア 文化情報提供事業

当財団の事業や道内の文化活動に関する情報を、情報誌「北のとびら」やホームページを通して提供したほか、事務所に設置した「文化情報ライブラリー」や「アートスペース」において、文化・芸術に関する書籍や映像資料等を開架するとともに、道内で活動する若手美術家の作品を展示した。

また、道内の文化活動を記録、保存するオリジナル映像「北の情熱」においては、「人づくり一本木基金」の寄附者である故・長原實氏の、木工を通じた人づくりやものづくりへの思いなどを語った講演会の映像記録等を編集し、制作した。

イ 舞台芸術情報提供事業

道内で実施が可能な音楽、演劇、舞踊、伝統芸能等の公演企画の最新情報を提供する「北海道舞台芸術情報フェア」や、鑑賞事業の共同開催に向けて市町村等と公演企画団体が情報を交換する「舞台芸術ネットワーク会議」を開催した。

- 北海道舞台芸術情報フェア2015（札幌市）
- 舞台芸術ネットワーク会議（札幌市）

2 こぐま基金事業

(1) アートカフェ開催事業

暮らしの中でアートを身近なものに感じてもらうこと、アートを通して人と人との出会い、豊かな時間をもつことを目的に、様々なジャンルで活躍するアーティストをゲストに迎え、参加者とアーティストが身近な距離で交流するトークイベントを開催した。

平成27年度は人づくり一本木基金事業と連携し、創設記念セミナーにおけるクラリネット奏者とミュージック・ソー奏者のアンサンブル sawla とコンテンポラリーダンサーによるオープニングを、旭川神楽公民館で実施した。

- 1事業（旭川市）

(2) 地域文化協働事業

地域文化の一層の創造・発展を図ることを目的に、道内の文化団体の創造活動に対し助成を行うほか、アイヌ文化伝承保持者の口承文芸の記録を行った。

また、北海道地域文化選奨への出賞作品（ブロンズ彫刻）を制作した。

- 助成事業 5事業（旭川市、札幌市4件）
- その他 1事業

3 人づくり一本木基金事業（長原 實・スチウレ・エング 人づくり基金事業）

長原實氏並びにスチウレ・エング氏からの指定寄附を基に、工芸美術及びものづくり等の分野において、次代を担う人材を育成し、北海道における創造活動の振興発展に資するため、道内在住又は道内出身者を対象に、奨学の援助、研修の支援、顕彰並びに人材育成に関する事業を実施した。

- 奨学援助事業 （平成28年度に再募集することとした。）
- 海外研修支援事業 研修生1名
- 顕彰事業 ・選奨 長原賞1名、特別賞1名 ・奨励賞 3名
- 人材育成事業 1箇所（基金創立記念セミナー、旭川市）

4 アート選奨K基金事業

磯田憲一氏からの指定寄附を基に、文化芸術活動の一層の振興発展に寄与するため、道内の文化芸術活動の中で、特筆すべき活動を行い、本道の文化芸術の振興発展にとって「敬愛」すべき役割を果たしたと認められる団体または個人を対象に、アート選奨を贈呈した。

- アート選奨 1名

5 その他

- ① 平成26年度の財団事業の成果をまとめた年報「一年のあゆみ」を作成した。
- ② 市町村等で開催される会議において、財団事業について説明を行った。
- ③ 道内外の文化関係団体等が開催した各種会議、研修等に参加した。

III 理事会、評議員会及び専門委員会、人づくり一本木基金運営委員会の開催状況

1 理事会

回	開催期日・場所	議 事 等
第1回	平成27年6月4日 北海道文化財団 アートスペース	第1号議案 平成26年度事業報告の承認の件について 第2号議案 平成26年度決算報告の承認の件について 第3号議案 平成27年度定時評議員会の招集について 報告第1号 職務執行状況の報告について 報告第2号 「長原 實・スチウレ・エング 人づくり基金」について 報告第3号 寄附金の募集、申出について
第2回	平成28年3月22日 北海道文化財団 アートスペース	第1号議案 平成27年度収支予算変更の承認の件について 第2号議案 平成28年度事業計画書の承認の件について 第3号議案 平成28年度収支予算書の承認の件について 第4号議案 資金調達及び設備投資の見込みの件について 報告事項 職務執行状況の報告について

2 評議員会

回	開催期日・場所	議 事 等
定 時	平成27年6月26日 北海道文化財団 アトスペース	第1号議案 平成26年度決算報告の承認の件について 報告第1号 平成26年度事業報告について 報告第2号 平成27年度事業計画書について 報告第3号 平成27年度収支予算書について 報告第4号 職務執行状況の報告について 報告第5号 「長原 實・スチウレ・エング 人づくり基金」について 報告第6号 寄附金の募集、申出について

3 専門委員会

回	開催期日・場所	議 事 等
第 1 回	平成27年11月5日 北海道文化財団 アトスペース	1 平成28年度アートシアター鑑賞事業のメニュー選定について 2 平成28年度主催事業について
第 2 回	平成28年3月10日 北海道文化財団 アトスペース	1 平成28年度共催・助成事業の選定について (1) まちの文化創造事業 (2) アートシアター鑑賞事業 (3) 文化交流事業 2 主催事業について

4 「長原 實・スチウレ・エング 人づくり基金」運営委員会

事業運営及び各種選考等について協議するため、「長原 實・スチウレ・エング 人づくり基金」運営委員会を設置した。

○ 運営委員

職	氏名	所属団体等
委員長	磯田 憲一	公益財団法人北海道文化財団理事長
副委員長	阿部 典英	北海道文化団体協議会会長
委 員	桑原 義彦	旭川家具工業協同組合会長
	佐藤 友哉	札幌芸術の森美術館館長
	藤田 哲也	株式会社カンディハウス代表取締役社長
	宮田日出夫	北海道高等学校長協会定通部会長 (有朋高校長)

※ 長原實 (寄附者・(株)カンディハウス取締役相談役) 委員は、平成27年10月8日に逝去され、後任に (株)カンディハウス藤田代表取締役社長が就任した。

○ 開催概要

回	開催期日・場所	議 事 等
第 1 回	平成27年6月2日 北海道文化財団 会議室	事業の概要について 資金計画について 事業の対象「工芸美術及びものづくり」について
第 2 回	平成27年7月1日 北海道文化財団 会議室	事業の対象「工芸美術及びものづくり」について 海外研修事業について 顕彰事業について セミナー等の開催について

第 3 回	平成27年10月13日 北海道文化財団 会議室	平成27年度海外研修支援事業の選考について 平成27年度顕彰事業の選考について 平成27年度セミナー等の開催について 奨学援助事業について 平成27年度セミナー等の開催について
第 4 回	平成28年2月17日 北海道文化財団 会議室	奨学援助事業 平成28年度奨学生の選考について